

令和7年度 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業（ユニバーサル公演事業）

出演希望調書 No.1（共通）

オレンジ色

入力必須項目です。

みどり色

選択必須項目です。

制作団体名	有限会社 想起
公演団体名	スーパーパントマイムシアター-SOUKI

分野・種目

※応募する企画の主たる分野・種目を1つ選択してください。

分野・種目については、募集要領4ページを御参照ください。

分野	種目
演劇	児童劇・演劇・ミュージカル

取り組み（該当する取り組みに○を付してください。）

該当	取り組み
<input type="radio"/>	①障がいのある芸術家が活躍する取り組み
<input type="radio"/>	②字幕や音声ガイダンス等を設置するだけでなく、障がいのある子供たちも主体的に芸術鑑賞・体験ができるよう工夫された取り組み

応募する取り組みが①である場合、芸術家が抱える障がいの種類

視覚障害（全盲）のパフォーマーが1名参加

※採択を受けた場合、実施へ向けた調整に当たり、参考とさせていただきます。

応募する区分（該当する区分に○を付してください。）

該当	区分
<input type="radio"/>	◀D区分▶ 公演を中心とする企画
	◀E区分▶ ワークショップを中心とする企画 ※ ワークショップの一環として実演を披露するものを含みます。

実施可能期間 ※原則として令和7年6月2日（月）～令和8年1月30日（金）まで

実施可能期間		全期間：令和7年6月2日 ～ 令和8年1月30日 ※夏休み、年末年始を除く	
	令和7年9月1日	～	令和8年1月30日
		～	
		～	
連日公演の可否	可	←選択してください。	

実施可能地域 ※実施可能な地域名の前に○を付してください。(複数選択可)

該当	地域	都道府県	都道府県を限定される場合はこちらに御入力ください。
○	限定なし		
	北海道	北海道	
	東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	
	南関東	埼玉、千葉、東京、神奈川	
	北関東・甲信	茨城、栃木、群馬、山梨、長野	
	北陸	新潟、富山、石川、福井	
	東海	岐阜、静岡、愛知、三重	
	近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	
	中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	
	四国	徳島、香川、愛媛、高知	
	九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島	
	沖縄	沖縄	

団体の概要

【制作団体について】

ふりがな	ゆうげんがいしゃそうき		
制作団体名	有限会社 想起		
代表者職/氏名	代表取締役社長/江ノ上陽一		
制作団体所在地	〒 110-0015		
	東京都台東区東上野3-30-1東上野ビル2F		
制作団体代表電話番号	03-6803-0702		
制作団体設立年月	1991	年	9 月
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役社長/江ノ上陽一	所属パフォーマー：10名	
事務体制：事務（制作専任担当の有無）		他の業務と兼任	
Webサイト等URL	https://www.souki-mime.com/service/		
本事業担当者名	三五さやか	本件連絡先：電話番号	080-3386-8548
メールアドレス	souki@souki-mime.com		
経理処理等の監査担当の有無		有	
経理責任者名	奥澤誠		

【公演団体について】

ふりがな	すーぱーぱんとまいむしあたーそうき
公演団体名	スーパーパントマイムシアターSOUKI
代表者職／氏名	代表／江ノ上陽一
Webサイト等URL	https://www.souki-mime.com/

特別支援学校等における活動実績や障がいを持った芸術家の活動を拡げる公演等の活動実績

スーパーパントマイムシアターSOUKIは、学校公演、芸術鑑賞公演を30年に渡って実施してきた公演団体です。近年、体験型の教育方針の拡充に伴い、ワークショップへ繋げる公演スタイルも実施しています。また、定期的なレッスンプラスでの豊富な指導経験を軸に、特殊支援学校の生徒向けのワークショップも豊富な実績があります。

現在、在籍する視覚に障害のあるパフォーマー複数名が、舞台やイベント出演で活躍しており、令和6年度のユニバーサル公演事業に参加しました。本事業においてスーパーパントマイムシアターSOUKIのレパートリー作品を上演予定です。※詳細 別紙資料1

【特別支援学校等での公演、ワークショップ実績】

戸塚社会福祉施設（2018年）
筑波大附属大塚支援学校（2021年）
静岡県立静岡聴覚特別支援学校（2023年）
長崎県立川棚特別支援学校（2023年）
岐阜県立岐阜聾学校（2024年）

【スーパーパントマイムシアターSOUKI オープンクラスでの指導実績】

発達障害の子供たち複数名が6年から8年間在籍しています（現在も在籍）。
聾者、視覚障害者への指導実績あり（現在、視覚障害者3名が在籍）。

【視覚障害者対象の音声ガイド】

スーパーパントマイムシアターSOUKIの舞台公演では、2019年より、「ほどほどマイム実況」という視覚障害者向けの音声ガイドサービスを実施しています。

100人に100通りの受け取り方、理解の仕方があるように、音声ガイドでも、理解の幅を持ってもらえるようにしなければいけない、というコンセプトのもとに、それぞれの想像力を大切にした音声ガイドです。

令和6年には東京都の鑑賞サポート助成をうけ、9月の舞台公演『銀河鉄道の夜』で実施、20名以上の視覚障害者がパントマイムの舞台を鑑賞しました。

<https://www.souki-mime.com/hodohodo/>

令和7年度 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業（ユニバーサル公演事業）
 出演希望調書 No.2（D区分）

オレンジ色	入力必須項目です。	みどり色	選択必須項目です。			
制作団体名	有限会社 想起					
企画名	スーパーパントマイムシアター-SOUKI [MIME BOX]					
主な対象学年 <small>※複数選択は可能ですが企画内容と趣旨が異なるようお願いいたします。</small>	<input type="radio"/>	小学校：低学年	<input type="radio"/>	小学校：中学年	<input type="radio"/>	小学校：高学年
	<input type="radio"/>	中学校・中等教育学校（前期課程）				
	<input type="radio"/>	特別支援：小学部	<input type="radio"/>	特別支援：中学部	<input type="radio"/>	特別支援：高等部
児童・生徒の鑑賞・体験可能人数の目安	1回の人数		回数			
ワークショップ ※3回まで	40名程度		2			
本公演 ※1校1回まで	500名		まで対応可			
企画の動画等の資料	PW					
URL	https://youtu.be/xgaoBOI6jEc					

本公演について

主な演目	スーパーパントマイムシアター-SOUKI [MIME BOX]					
原作/作曲						
脚本						
演出/振付等	演出・振付 江ノ上陽一					
公演時間 (分)	著作権	<input checked="" type="checkbox"/>	制作団体が所有			
		<input type="radio"/>	制作団体以外が所有する事項が含まれる			
50分		<input type="radio"/>	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無□			
演目概要	「ロボット」や「かべ」、「つなひき」、「ふうせん」、またパネルを使用した「エスカレーター、エレベーター」など、パントマイムの基礎的なテクニックをふんだんに駆使して身体への興味と、想像を掻き立てる、視覚に障害のあるパフォーマーも参加してのオムニバス公演。					
公演従事予定者の編成	出演者4名（内視覚障害者1名）/音響1名/照明2名（合計7名）					
公演に当たり必要な会場条件	・舞台の設置場所	<input checked="" type="checkbox"/>	教室	<input type="checkbox"/>	体育館	
	・舞台に必要な広さ	8m X 4m 程度				
	・電源容量（主幹ブレーカー容量）	30 A				
	・暗転の要否	<input type="radio"/>	要	<input checked="" type="checkbox"/>	不要	
	・その他					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		3	時間程度
	到着	仕込み(開始・終了)	本公演(開始・終了)	内休憩	撤去(開始・終了)	退出
	8時	8時 11時	11時 12時	なし	12時 13時	15時
タイムテーブル例：11:00-12:00(4時間目)公演+13:30-14:30(5時間目)ワークショップ。 午前中の早い時間に公演を実施したい場合は、前日仕込み						
派遣について	移動方法の制約等	関東以外のエリアは前泊が必要				
	運搬規模	ハイエースワゴン1台				

ワークショップについて

内容
<p>パントマイムを通じて身体への興味、他者へ想いを伝える喜び、自由に想像することの楽しさを体験するワークショップ。公演前と終了後に2回にわけて行うことで、鑑賞の理解を深め、練習の成果が実感できる組み立てにする。</p> <p>1) 身体の緊張と弛緩：「物」に触るときに身体が緊張し、逆に「物」を離す（離れる）ときには弛緩（緩む）する。この組み合わせで「身体の動き」が出来上がっていることを知る。今回のユニバーサル公演に参加する視覚障害者がパントマイムを身につけていった過程を説明しつつ、「見えない」状態をシュミレートし身体感覚の違いに気づく。</p> <p>2) 「テーマ」にそって演じる。状況をイメージし、動きに反映する。例えば、「石ころにつまずいて転びそうになる」そして「その石ころをあなたはどうしますか？」という問いに、生徒は一人一人様々な「答え」を想像し、試し、演じる。五感をフルにつかって演技を作っていく。</p> <p>最終的には決められたルール（時間、音楽）内で演技を完成させ、お互いに発表。</p>
主指導者：江ノ上陽一 1名 補助：出演者のうち1名（特別支援学校の場合等、必要に応じて）
目的とする効果
<p>生徒各々が感じたことを身体の動きで表現する。パントマイムで「物」があるかのように表現すること、「感情」を言葉ではなく身体の身振りで表現するなかで、その表現の仕方は人と違っていい、答えは一つでは無いということ学ぶ。演技を完成させ披露することで、成功体験を得ることができる。</p>

企画全体について

当ユニバーサル公演事業を実施されるにあたり重点を置くポイントや工夫、対応について御入力ください。

企画のねらい
<p>身体一つで表現するパントマイムは、言葉のない世界だからこそ「想像力」が育まれる。子供たちはそれぞれに、「何?」「なぜ?」「どうして?」と物語、背景、感情等を組み立て、何を伝えたいのかを考ることができ、他者へ想いを巡らせ、気持ちを理解することにもつなげる。さらに、視覚に障害のあるパフォーマーが演じる演目を通じて、チャレンジの大切さを子供達に示すことができる。</p>
特別支援学校等での実施における工夫等
<p>【視覚障害】セリフのないパントマイム作品を通常の観劇環境で満喫してもらうのは難しいため、SOUKIが2019年から舞台公演で実施している「ほどほどマイム実況」が提供可能。晴眼者が見えたもの感じたことをそのまま言葉にして伝え、視覚障害者は聞いた情報から「こんな感じかな」とか「それはどうして」等、疑問に思ったことを聞く。理解の幅を残しながら、舞台の様子を伝えるイヤホンガイド（学校等では未実施）。</p> <p>【発達障害】 長時間の上演でも集中して観られるよう、各作品の時間配分や積極的に作品に関われるような演出等の工夫。</p>
取り組み②で応募する場合、特に重点的に取り組んできた課題（障がいの種類等）
<p>【聴覚障害】パントマイム固有の特性である「セリフのない世界」を満喫し、自身でも生き生きと自己表現する。</p> <p>【視覚障害】セリフの無い舞台を鑑賞者に伝えるサポート「ほどほどマイム実況」を活用。自身にも見えない「自分の身体」を把握しコントロールする楽しさを味わう。</p> <p>【発達障害】 集中して鑑賞し、一人ひとりが持つ個性を大切に、それぞれの感じたこと、伝えたいことを表現する。</p>
協力・連携機関及び団体内における専門員の配置等
<p>【視覚障害】 「ほどほどマイム実況」 https://www.souki-mime.com/hodohodo/ コーディネーター：金子聡（視覚障害を持つパントマイムアーティスト） 機材協力：ユニバーサルシアターチュプキ</p>

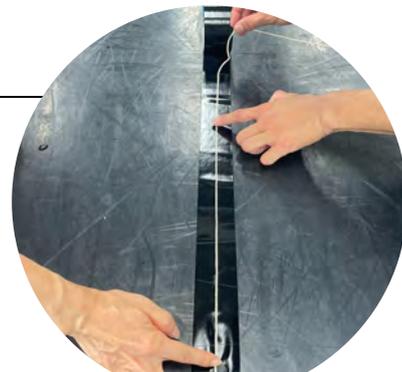
別紙資料1

スーパーパントマイムシアターSOUKI 2024.9.25

視覚に障害を持つパフォーマーが演じる作品について

スーパーパントマイムシアターSOUKIのレパトリー「ふうせん」。これは、ロマンティックマイムというジャンルに入るものです。SOUKIに所属する全盲のパフォーマーが「ふうせん」の演目で学校公演に参加いたします。「見えないは、出来ないじゃない」この想いにて、彼らはパフォーマンスいたします。令和6年度のユニバーサル公演で「ふうせん」を演じた2人は、令和7年度には、さらにアンサンブル作品にも参加予定です。彼らのパフォーマンスから子供たちが感じ取ることが無限大です。

※出演者のスケジュールを調整し、どちらか1名が公演に参加します。



※舞台上で前後左右を把握するため、舞台上に糸を貼り足で確認します。



「ふうせん」

主人公がマイムで作り上げた、見えない風船がふわふわと浮かびあがります。手から離れ空高く舞い上がった「ふうせん」を、主人公は自転車に乗り、木に登り、懸命に追いかけます。主人公が必死に追いかけて、渡そうとしている「ふうせん」には、「希望」や「夢」が詰まっているからです。

関場理生

2歳で失明し全盲となる。

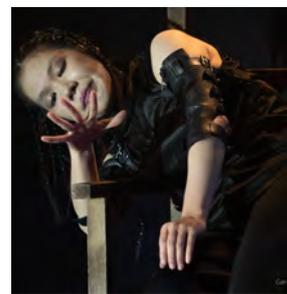
東京都立総合芸術高等学校舞台表現科3期卒業。日本大学芸術学部演劇学科劇作コース卒業。

2021年、ジュニー・シーレー演出『テンペスト—初めて海を泳ぐには—』出演。

2021年、スーパーパントマイムシアターSOUKIに参加。23年よりSOUKIライブに出演。

2022年、神戸アートビレッジセンター主催、手話裁判劇『テロ』出演。

現在、ナレーターとしてみみよみナレーション事務所やePARA Voiceに所属する他、ダイアログ・イン・ザ・ダークのアテンドとしても活動している。



金子聡

40歳の時、網膜の病気で中途失明。2014年にパントマイムを始め、17年よりスーパーパントマイムシアターSOUKIの舞台公演に参加。一般社団法人日本パントマイム協会主催公演「JAPAN PANTOMIME NEXT」等にも出演。つま先からつまじまで、目線から鼓動までカラダを徹底的に意識することで、見えない自分が見えてくるパントマイムが心から好きだ。思いを伝えることに、見える見えない、が関係ないのだということを証明したい。